

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者														
<p>1 市内公共交通の充実は (20分)</p> <p>鶴ヶ島市内には、「つるバス」「つるワゴン」が地域公共交通機関として循環しております。</p> <p>平成29年度の「つるバス」「つるワゴン」の利用者は、病院への通院・買い物・通勤・通学や障がい者など交通弱者の利用で、約30万人になります。また、平成29年3月からスタートした改正道路交通法により、75歳以上の高齢運転者に対する認知機能検査が厳格化されており、29年度の自動車運転免許証の自主返納件数は、全国で42万3,800件、75歳以上の件数は約25万件にものぼっています。鶴ヶ島市も高齢化が進むなか、市内公共交通のより一層の充実が図られねばなりません。</p> <p>以上のことを踏まえ、以下の質問を致します。</p> <p>(1) 市内公共交通のより利用しやすい運行について</p> <p>(2) コンパクトシティの利点について</p> <p>(3) 増車の時期について</p> <p>(4) 補償金について</p> <p>(5) 高齢者や免許返納者への対応について</p> <p>運転免許証返納者数</p> <table border="1" data-bbox="165 1592 561 1789"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>鶴ヶ島市内の 免許証返納者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28年</td> <td>192人</td> </tr> <tr> <td>29年</td> <td>221人</td> </tr> </tbody> </table> <p>補償金金額</p> <table border="1" data-bbox="603 1603 1096 1812"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27年</td> <td>64,376,447</td> </tr> <tr> <td>28年</td> <td>67,221,397</td> </tr> <tr> <td>29年</td> <td>67,625,743</td> </tr> </tbody> </table>	年度	鶴ヶ島市内の 免許証返納者数	28年	192人	29年	221人	年度	金額(円)	27年	64,376,447	28年	67,221,397	29年	67,625,743	<p>市長</p>
年度	鶴ヶ島市内の 免許証返納者数														
28年	192人														
29年	221人														
年度	金額(円)														
27年	64,376,447														
28年	67,221,397														
29年	67,625,743														

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)

答弁を求める者

利用者数

年度	利用者数(人)		
	つるバス	つるワゴン	計
23	88,806	79,718	168,524
24	110,083	97,886	207,969
25	131,539	103,319	234,858
26	151,893	112,871	264,764
27	173,021	114,806	287,827
28	172,784	111,380	284,164
29	182,341	115,877	298,218

2 鶴ヶ島版ネウボラの進展は (20分)

厚生労働省において平成26年度に妊娠・出産包括支援モデル事業を全国29市町村で実施し、埼玉県では和光市が「妊娠期からの切れ目のない支援～わこう版ネウボラ～」として事業を展開して来ました。これまで子育て支援は、複数の機関が個別の対応を行っていて、必要な支援が必ずしも切れ目なく提供できなかったこともあり、日本版ネウボラの確立を目指す取組です。

厚生労働省では、子育て世代包括支援センターを全国150か所で開始し、平成32年度末を目途に全国展開を目指すこととしています。

そこで以下のことをお伺い致します。

(1) 鶴ヶ島版ネウボラの現状について

ア リスクケースの対応について

イ 不妊治療の対応について

(2) 鶴ヶ島版ネウボラの知名度は。

(3) 他の自治体のネウボラとの比較は。

(4) 鶴ヶ島版ネウボラの今後について

合計特殊出生率

	国	県	市
27年	1.45	1.39	1.3
28年	1.44	1.37	1.22

市長